

銅・アルミレポート

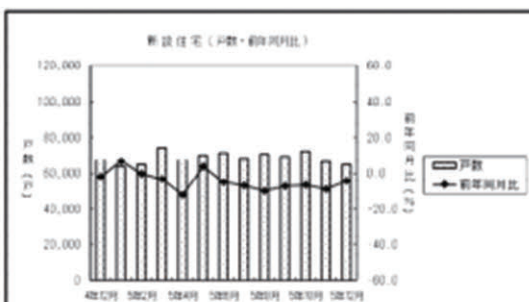
橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

1月のアルミ概況および2月の見通し (2)

予想レンジ

LME 現物後場買い 2,100-2,200ドル ☂
スクラップ +5円~10円 (前月最終価格より) *
為替 145円~150円 レンジ内
(1か月間TTM)

新設住宅 (戸数・前年同月比)



出典 国土交通省統計

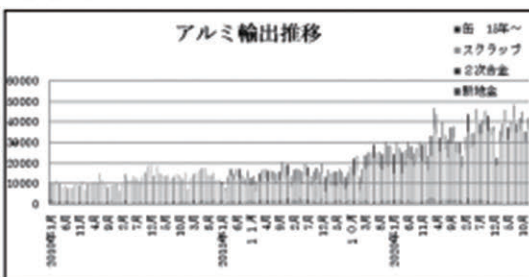
◆貿易指標

【輸出】

新地金新地金は+51%の378 t。
二次合金は-33.5%の793 t。
スクラップは+3.6%の3万5,538 t。
アルミ缶は+56%の5,401 t。

	10月	11月	12月
新地金	414 t	378 t	378 t
前年比	-306%	+274%	+51%
二次合金	671 t	601 t	793 t
前年比	-57.1%	-50.6%	-33.5%
スクラップ	3万8580 t	2万9747 t	3万5538 t
前年比	+13.2%	-7.4%	+3.6%
缶	5202 t	4508 t	5401 t
前年比	-26.5%	+13%	+56%

輸出推移



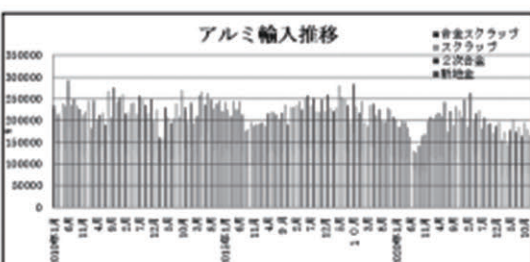
出典 財務省貿易統計

【輸入】

新地金は-22.8%の7万7,221 t。
二次合金は+2.7%の8万7,724 t。
スクラップは-26.2%の594 t。
合金スクラップは+27%の8,727 t。

	10月	11月	12月
新地金	8万6648 t	7万9060 t	7万7221 t
前年比	-15.5%	-4%	-22.8%
二次合金	10万8042 t	9万9089 t	8万7742 t
前年比	+21.3%	+10.9%	+2.7%
スクラップ	610 t	489 t	594 t
前年比	-25.3%	-12.8%	-26.2%
合金スクラップ	6353 t	9164 t	8727 t
前年比	+14.4%	+33.7%	+27%

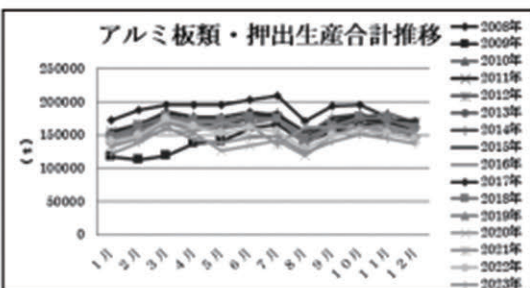
輸入推移



出典 財務省貿易統計

【アルミ圧延・押出品生産数】

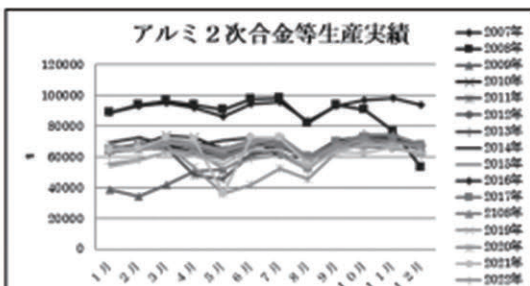
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4.4%の13万7,054 tで21カ月連続マイナス。



出典 日本アルミニウム協会

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は+1%の6万1,151 tで1か月ぶりプラス。
出荷は+1.1%の6万1,095 tで1か月ぶりプラス。



出典 日本アルミニウム合金協会

(次頁へつづく)

■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると12月の自動車生産台数は前年比+6.7%の70万5,248台。

輸出は前年同月比+23.1%の41万1,108台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると1月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-12.4%の33万4,838台。

【住宅着工戸数】

12月の新設住宅着工は、分譲住宅は増加したが、持家及び貸家が減少したため、全体で前年同月比4.0%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前年同月比3.1%の増加となった。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4.4%の13万7,054 tで21カ月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比+1%の6万1,151 tで1カ月ぶりプラス。出荷+1.1%の6万1,095 tで1カ月ぶりプラス。

【輸出】

新地金は+51%の378 t。
二次合金は-33.5%の793 t。
スクラップは+3.6%の3万5,538 t。
アルミ缶は+56%の5,401 t。

【輸入】

新地金は-22.8%の7万7,221 t。
二次合金は+2.7%の8万7,742 t。
スクラップは-26.2%の594 t。
合金スクラップは+27%の8,727 t。

【見通し】

【自動車】

12月の自動車生産が+6.7%。12月国内販売台数が

前年比-12.4%。11か月振り減少。

【アルミ圧延・押出品生産数】

前月に続き中国景気後退によるスマホ需要の低迷から来月も期待薄。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比+1%の6万1,151 tで1カ月ぶりプラス。出荷+1.1%の6万1,095 tで1カ月ぶりプラス。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は前月に続きLME価格が2,300から2,200ドル台と下落傾向だった。ダイハツ、トヨタ問題で売れず在庫あり。需要面に関してダイハツ、トヨタ問題や中国景気後退から需給は緩んでいる。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。

① 米FRBの金融政策

3月のFOMCに向けてマーケットは利下げ期待が台頭しているものの米株式が最高値を更新していること、パウエル議長が3月の利下げの可能性が低いことを金融市場に伝えたことから3月は金利据え置き。

② 中国の景気

不動産大手の「恒大集団」に対し、1月、清算命令が出されるなど、不動産業への不透明感が増していることや上海総合指数は、先週から6営業日続けて下落し、コロナ禍で株価が暴落した2020年3月を一時下回ったことから景気後退は避けられない。

これらを踏まえた今月のアルミ価格は2,100-2,200ドル(セツル)との予想。

ドル円値は145円~150円(TTM)台を予測。

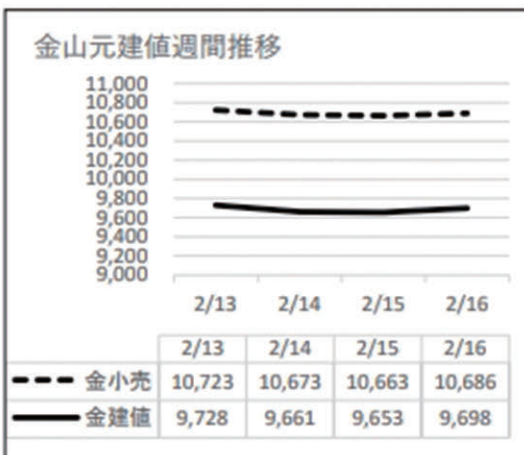
スクラップ購入価格に関しては-5~10円程度と予想している。

(「1月のアルミ概況および2月の見通し」おわり)

<https://nikkankinzoku.co.jp/>
PW: nikk202402


金銀山元建値週間推移

2月13日~2月16日



1月平均	建値	小売
金(¥/g)	9,594.68	10,583.77
銀(¥/kg)	109,650	122,000

